

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスとと	公表日	令和 8年 3月 1日
------	--------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		十分なスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		配置基準に沿って配置している。	継続して1人1人と向き合えるよう支援を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		状況に応じて、別室で対応できている。活動によって場所を変えている。	活動部屋はバリアフリー化がされているが、玄関入口のバリアフリー化は課題である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃と消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		気持ちが落ち着かない等、状況によっては別室で環境を変えて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月1で職員会議を行い、誰でも意見を伝えることが出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		HUG研修に参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		保護者と話し、そのアセスメントの内容をもとに作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		支援に関わっている職員に状況を聞き、作成している。	生活上で困っていることに対して、全職員が継続的に対応できるよう確認をしていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書作成後は支援会議を行い、職員間で内容を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		目標・内容を分け、具体的に記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員で話し合い、決めている。話し合いを行いながら立案することで、より良いプログラムにしていけている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		1週間ごとでプログラムを決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		職員も計画書の評価がおこなえるような連絡帳になっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		職員間でその日の流れの確認を行っている。役割分担を話し合うことで、スムーズに支援を行うことができている。	詳細に確認できていない部分もあるため、情報共有に漏れがないように、業務連絡体制等を見直すことも行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		サービス提供記録を書くときや、朝礼時に振り返りや共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		活動内容だけでなく、子どもとの会話や活動中の様子まで協力して記録を押ししている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			年に1回ほどインクルージョンの参加を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		報告書にて情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		実施できていない。	今後、地域の連絡部会等に参加し、連携を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		モニタリング時や送迎の際に情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		今後イベントで保護者も参加できるよう支援を行う。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		モニタリング等で定期的に保護者の意見を聞き、計画書の作成を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		確認後、同意のサインをもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて実施できている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	保護会等、保護者同士での交流の場は設けられていない。	兄弟間で交流する機会はあるが、保護者同士の交流の機会は出来ていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		日程調整を行い、面談を行うようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ホームページやインスタ等SNSで活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		鹿児島支部のインクルージョンの参加とPTA主催の参加を行っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		定期的に訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		事前に聴取し、職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーの有無に関しては、契約時に聞き取りを行い、把握に努めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		年間スケジュールを作成し、研修や訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画及び安全に関する取り組みの内容について、事業所入口にファイリングし、周知を図っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット報告書を作成し、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		現在、対象児童なし。身体拘束については、マニュアルを作成し、そのマニュアルに沿う形で対応・対策を行うようにしている。		